

11/1 光の道で夜の散歩 イルミネーショントンネル点灯

洞 爺湖温泉の冬の風物詩「イルミネーショントンネル」が始まりました。
全長70㍎、幅5㍎のトンネルの中では約40万個のLEDが輝き、幻想的な光景が広がっています。この日は点灯式が行われ、下道町長など出席者がボタンを押すと、トンネルが一斉に光りだしました。
内部には「TOYA」の文字をかたどったオブジェも設置され、記念撮影を楽しむ観光客などでにぎわっていました。



夜の道を彩るイルミネーショントンネル

10/30 いろんなゲームで大満足 2022☆ハロウィンパーティー

絵 本の玉手箱主催の「母と子の館の日2022☆ハロウィンパーティー」が、母と子の館で行われました。幼児向けと小中学生向けの2部に分けて実施されました。
館内には、絵本の玉手箱の会員が手作りの射的やヨーヨー釣り、ピングゴなどさまざまなゲームコーナーが並びました。好きなアニメキャラクターの衣装を着た子どもたちも参加し、ハロウィンらしい雰囲気の中でゲームを楽しんでいました。



釣りのゲームを楽しむ子どもたち

11/18 北海道コンサドーレ札幌が町をPR 宮澤・福森選手が来町

サ ッカー・JリーグJ1所属の北海道コンサドーレ札幌で活躍する宮澤裕樹選手、福森晃斗選手が来町しました。
道内の市町村を活気づけようと北海道コンサドーレ札幌が行っている「コンサドーレホッカイドウツアーズ」の一環で行われました。宮澤選手と福森選手は財田米やぐる巻きソーセイジなど町の名産品を味わった後、PR動画を撮影。「唯一無二のおいしさです」など町の魅力を語っていました。



町の魅力をPRする宮澤選手(右)と福森選手

11/2 縄文時代の故郷を学ぶ 虻田中が歴史体験学習

虻 田中学校(瀧澤義守校長)の「入江・高砂貝塚縄文遺跡体験学習」が入江・高砂貝塚館で行われました。
郷土の歴史に理解を深めてもらおうと開かれ、生徒約40人が参加しました。
縄文人が動物の骨で作った釣り針や、入江・高砂貝塚から出土した人骨の模型などを見学した後、勾玉の製作体験も行われ、生徒たちは縄文時代の生活や衣食住について学んでいました。



縄文文化を学ぶ生徒

11/22

まちの歴史を学んで観光活用 洞爺湖温泉観光協会が貝塚見学会

洞 爺湖温泉観光協会（大西英生会長）の入江・高砂貝塚見学会が行われました。道が行っている縄文遺跡などを活用した観光振興の補助事業として開催され、約20人が参加しました。学芸員による講話では、貝塚からの出土品や遺跡が見つかった経緯について解説がありました。両貝塚の見学も行われ、参加者は遙か昔の虻田地区について思いを馳せながら遺跡を巡っていました。



貝塚を見学した参加者

11/21・22

公共交通のあり方を議論 公共交通意見交換会を開催

タ クシーやバスなどの公共交通の今後のあり方について、職員と町民が協議する公共交通意見交換会が虻田・洞爺湖温泉・洞爺地区の計3会場で行われました。公共交通では、利用者の減少や運転手不足などから事業の継続性が課題となっています。意見交換会では、公共交通をより利用しやすくするために必要な対策などについて活発な議論が交わされました。



公共交通の今後について議論した意見交換会

11/25

ボランティアの活性化を目指して ボランティア懇話会開催

洞 爺湖町ボランティア連絡協議会（青木佐智子会長）のボランティア懇話会が、健康福祉センターさわやかで開かれました。参加者は、町の担当者による防災講話でハザードマップの見方や、避難場所について説明を受けました。サバ味噌缶を使ったカレーの炊き出し訓練も行われ、長期保存に適した缶詰の活用方法を学ぶことで災害時の備えを身に付けました。



防災講話を受ける参加者

11/22・24・29

他人への優しさ学ぶ 「人権の花」運動感謝状贈呈式

虻 田、洞爺湖温泉、とうやの各小学校が参加した「人権の花」運動の感謝状贈呈式が各校で行われました。虻田小学校では、3年生の佐藤海月さんが感謝状を受け取り、人権擁護委員から「相手のことを思う優しい人になってください」と呼び掛けられるとすっかりとうなずきました。続けて開かれた人権教室では、DVDの資料をもとに児童が他人を尊重する大切さを学びました。



感謝状を受け取る佐藤さん